

【平成28年度の実施内容】

○エゾシカ簡易影響調査の結果

継立担当区部内の国有林（栗山町）「稚樹等が食害を受けかなり強い影響を確認」森林被害の拡大防止対策が必要と判断。



○栗山町と捕獲連携事業の実施

捕獲連携事業を栗山町に提案し協定締結した。

【役割分担】

- ・管理署は林道除雪と誘引を実施
- ・栗山町は捕獲と処分を実施

【事業内容】

- ・場所：栗山国有林
- ・期間：平成29年1～3月
- ・除雪：延べ37km
- ・えさ：圧片大麦外
- ・捕獲：39頭

【取組結果】

森林管理署、町、猟友会、地元業者が、連携協力する体制の確立。

また、捕獲箇所の選定には、除雪の難易も考慮し経費を節減。

【平成29年度の実施内容】

○エゾシカ簡易影響調査の結果

継立担当区部内の国有林（栗山町）
 頼城担当区部内の国有林（芦別市）
 「稚樹等が食害を受け、かなり強い影響を確認」
 平成29年度は栗山町において継続、新たに芦別市でも森林被害の拡大防止対策が必要と判断。



エゾシカの食害

○栗山町と捕獲連携事業の実施

【事業内容】

- ・場所：栗山国有林
- ・期間：1～3月
- ・除雪：延べ46km
- ・えさ：圧片大麦
- ・誘引：16日間
- ・捕獲：50頭

取組結果と成果等

- ①自動撮影カメラでの定点観測を実施。出没時間帯を把握し効率的な捕獲を実施。
- ②町の担当者や猟友会からの生息情報等を参考に捕獲区域を設定。効果的な捕獲につながった。

○芦別市と捕獲連携事業の実施

・栗山町の成果を踏まえ芦別市に提案。協定締結が決定。

【事業内容】

- ・場所：芦別国有林
- ・期間：1～3月
- ・除雪：延べ19km
- ・えさ：圧片大麦外
- ・誘引：16日間
- ・捕獲：31頭

取組結果と成果等

- ①管理署が林道除雪・誘引を実施。ハンターの負担を軽減できた。
- ②捕獲区域を沢沿いに設置することにより、銃口を斜面に向けて発砲できるため安全な捕獲となり、残滓回収距離が短くなるため、効率的な捕獲につながった。

【今後に向けて】

農林業被害の状況は、平成22年度から26年度までの緊急対策期間の取組によりエゾシカの生息数や農林業被害は減少傾向にあるが、過去の被害と比べ未だ高い水準にあり、生息域も道南地域へ広がっている状況となっていることから、継続的な捕獲の実施が必要となっている。

今後も、地域と連携し効率的、効果的な捕獲を進めます。

